

一般質問

「これを聞きたい これを言いたい」

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



9議員が登壇

町政を問う

質問者、答弁者それぞれ30分以内の制限時間。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

| 質問者 | 件名 | 頁 |
|-------|--|----|
| 中根 久治 | 1 「こうたまち」が公式呼称か 2 公共交通機関のベストミックス | 5 |
| 酒向 弘康 | 1 アジア大会の競技誘致の考えは 2 特殊詐欺防止など高齢者対策を 3 ゴミ環境問題 | 6 |
| 水野千代子 | 1 残さず食べよう 20・10運動提唱 2 予防接種ナビの導入を | 7 |
| 志賀 恒男 | 1 大学病院への救急搬送の時間は 2 公共施設の照明 LED 化を | 8 |
| 鈴木 雅史 | 1 空き家対策条例制定の考えは 2 幸田駅構内の環境整備はどこか | 9 |
| 丸山千代子 | 1 学習支援事業実施で貧困対策を 2 いじめ防止対策を 3 介護保険の充実をめざして | 10 |
| 鈴木 重一 | 1 ふるさと納税の町税への影響は 2 健康増進のための施策は | 11 |
| 足立 初雄 | 1 鳥獣に負けない体制を早急に 2 迅速に対応できる体制の構築を | 12 |
| 伊藤 宗次 | 1 町教委の隠ペイ体質こそ改めよ 2 財政規律投げ捨てても仕事せず | 13 |

※ 質問の内容は2件までを掲載しています。



中根 久治 議員

問 「こうたまち」が公式呼称か

答 有効であると認識している



駅名は「こうだ」

「幸田町」は、「こうたまち」「こうだちよう」「こうたまち」の3種類がある。公式にはどう読むか。時系列に確認してみる。

問 昭和25年、「幸田村」時代の読み方は。

答 企画部長 幸せの田んぼの村で「こうだむら」「こうだ駅」「こうだ中

学校」とある。

問 昭和29年、合併した「幸田町」の読み方は。

答 総理府告示には「こうたまち」、総務省の地方公共団体コード一覧表は「こうたちよう」である。

問 「こうたまち」とした告示は有効か。

答 有効であると認識して

いる。

問 幸田のローマ字表記は「KODA」のままであり、「新幸田首領」も「こうだ」と歌っている。このゆれをどうするか。

答 昭和62年9月の町史は「KOTAI」である。男性・女性の歌う歌詞は「こうだ」「こうた」と異なっている。総合的な方向性は検討したい。

問 駅名を「こうた」へ呼称変更するの否か。

答 JRの判断と費用の問題から断念した。町名は「こうた」、駅名は「こうだ」が定着している。

問 公共交通機関のベストミックス

答 民間バスの乗り入れは難しい

町内から民間の乗り合いバスが姿を消した。町内の

公共交通機関は92年前に戻ろうとしている。

問 えこたんバスの走らない土日曜日は電車以外の公共の乗り物はなくなつた。都市交通マスタープランでは想定内のことがか。

答 企画部長 想定はしていなかった。

問 JR3駅とえこたんバス、民間バスによるベストミックスは実現するか。

答 民間バスの乗り入れは、利用者の減と赤字分に対する補助金の投入など、費用対効果を考えると難しい。

問 町の南北を貫く立派な背骨道路に、なぜバスを走らせないのか。

答 町内の拠点間移動は、JRを利用し、えこたんバスで目的地へ向う構想となっている。南北ルートは検討していない。

問 民間バスの町内乗り入れ、えこたんバスの町外乗り入れはできるか。

答 民間バスも広域交通ネットワークも計画はない。



酒向 弘康 議員



競技人口が増加しているボルダリング

問 アジア大会の競技誘致の考えは

答 県と調整し何かもってきたい

身体をつくり、精神をリフレッシュさせ、生きる力を醸成するスポーツ振興施策を問う。

問 教育の現場における「知・徳・体」を育成するスポーツ振興の意義と役割は。

答 **【教育部長】** 心身の健全

な発達をうながし、仲間や指導者との交流をとおりコミュニケーション能力を育成・思いやりを育み人としての成長を図る。

問 地域コミュニティを形成する媒体としてのスポーツ振興の現状と課題。

答 町民スポーツ大会、町

民運動会など、地域のきずなが災害時に役立つ。施設によって利用日が重複。

問 テニスコートやオールシーズン、ナイター利用の拡大を。

答 冬の夜間利用頻度の調査で試行的に取り組む。

問 中央公園の外周コースを、安全で膝にやさしい全天候型トラック用の舗装に。

答 **【建設部長】** 施工費がかなり高く今後の課題。

問 2026年愛知県で開催のアジア大会の競技を本町に誘致していく考えは。

答 **【町長】** 若い世代からも10年後のアジア大会にむけてボルダリングの要望がある。体育館をつくる方針があり、県と調整し何かもってきたい。

問 特殊詐欺防止など高齢者対策を

答 検証結果を調査し研究する

の登録者数の推移は。

答 平成25年2329件、26年3166件、27年3196件、28年3449件。

問 特殊詐欺の町内での発生状況は。

答 還付金詐欺2件199万5849円、オレオレ詐欺2件349万9460円。

問 高齢者向け「詐欺防止機能付き電話機」の購入費用の補助金制度を導入する考えは。

答 警察署の検証結果を調査し研究する。

問 幸田町防犯行動計画は平成25年にスタート。刑法犯認知件数の目標達成状況と評価は。

答 平成28年235件以下を目標。27年実績204件より増加が確実。

問 「こたたタウンメール」

そのほかの質問項目
●ごみ、環境問題



水野 千代子 議員

問 残さず食べよう20・10運動提唱

答 小さな輪から大きな輪に期待



残さず食べよう給食を（幸田小学校）

農林水産省による食べられるのに廃棄されてしまう「食品ロス」は、日本で年間632万ト。「もつたない」思いから以下を問う。

問 小・中学校、保育所の給食残食量と再生の現況

答 教育部長「小学校で1万1282kg。中学校で1725kg。」

住民ごとも部長「保育園は、食べ残しが少ない。委託でたい肥化し有効

活用。

問 学校や事業所、家庭などに、食品ロス削減の啓発・周知を。

答 環境経済部長「運動推進の「もつたない」シンボルマークがある。これを使って啓発できるように検討したい。」

問 会食、宴会などで乾杯後20分間と、お開き前の10分間は席に着く「残さず食べよう20・10運動」

の提唱を。

答 食へ切り呼びかけは、宴会幹事の役割りと思う。誰もができる小さな輪から大きな輪に期待したい。

問 役場内の食堂で食べきりメニューの導入を。

答 「食べきれる量にできますのでお申しつけください」表示をする。

問 フードバンクへの支援は。

答 健康福祉部長「NPO法人を紹介。」

は。

答 健康福祉部長「名古屋を始め17市と大治町の1町。

問 子育ての不安が解消されることからメール配信の導入を。

答 子育て支援に有効な手段と理解している。現状の妊産婦、乳幼児の直接面接で相談、情報発信の実施をすすめていきたい。

問 子どもの予防接種は種類が多く、接種期間・回数もそれぞれ違う。接種率は。

答 ヒブが92・4%、肺炎球菌は93・2%、4種混合が97・5%、BCGは98・8%、麻疹・風疹は94・1%。

問 子どもの急な発熱や予防接種を受け忘れた時に次のスケジュールを教え、てくれる予防接種ナビの導入を。

答 現状では考えてない。接種時期に接種券とスケジュール表を交付。無料登録できる接種動奨自動配信システムアプリで、接種漏れを防ぐようにしていきたい。

問 予防接種ナビの導入を

答 現状では考えてない

妊娠期や産後ケア、予防接種など、子育てに関するメールでの情報提供が求められている。

問 子育て情報をメールで配信している県内の現況



志賀 恒男 議員

問 大学病院への救急搬送の時間は

答 幸田駅から約10分

岡崎市南部に、藤田学園の大病院誘致の計画が進行中。

問 大病院の規模は。

答 **健康福祉部長** 開設当初は200床から300床。2・3年後400床をめざす。

問 診療科目は。

答 救急科、循環器内科、消化器内科、外科、胸部外科、整形外科を中心に各種の内科系、外科系。

問 医師や看護師の体制は。

答 藤田保健衛生大学の卒業生を含めた関係者。

問 幸田からの救急搬送先として、岡崎市民病院から大学病院へ変更になる割合は。

答 **消防長** 2割から3割。250人から400人程度。

問 大病院への救急搬送する時間の短縮は。

答 幸田駅から岡崎市民病

院まで約20分、大病院までは約10分で、10分の短縮。

問 大病院誘致のため、幸田町と岡崎市は補助金を出す予定。金額とその

用途は。

用途は。

答 **健康福祉部長** 上限50億円とする補助金の一部

2次救急に係る病棟の建設、医療機器など。



出勤回数が増加している救急車

問 公共施設の照明LED化を

答 メリットの出る施設を検討する

政府は2020年までに、公的設備・施設のLEDなど高効率照明の導入率100%達成の方針。

問 役場庁舎、消防署、ハツピネス・ヒル・幸田、

学校の照明器具のLED化率は。

答 **総務部長** 庁舎、保健センター、中央公民館は3・5%、消防署は0%、ハツピネス・ヒル・幸田は1・8%、小中学校9校で0・3%。

問 体育館や野球場など内外の照明器具のLED化率は。

答 **教育部長** まだ対応してない。

問 蛍光灯をLED化した場合、電気料金の低減効果は。

答 **総務部長** 年間の電気料金は1本当り、蛍光灯で2200円、LEDで900円、年間1300円の削減。

問 他の自治体の公共施設で、リースまたはレンタルでLED化した事例は。

答 長野県庁の西庁舎で、リース方式採用。

問 費用対効果を考え、公共施設の照明LED化を

答 メリットの出る施設を順次検討する。



鈴木 雅史 議員

問 空き家対策条例制定の考えは

答 現在は状況を見て検討中



雑草が繁茂する空き家

問 現在、空き家が全国的に年々増加し、平成20年の調査結果によれば空き家率が13・1%にもなっており、その対応が求められている。
答 現在空き家実態調査がおこなわれているが、その内容は、

建設部長 現地調査を

実施した結果、260軒の空き家が報告された。現在、空き家カルテを作成し、データベース化をおこなっている。
今後は、基本構想案を作成する予定である。
問 幸田町において、空き家対策条例の制定の考え

環境経済部長 平成24年から28年現在まで、町内が77件、町外が27件である。

があるか。
答 現在は状況を見て検討中。
問 森林の相続などで、森林の所有者になった旨の届出義務があるが、その町内・町外別の届出状況は。

企画部長 敷地はJRの所有であり、管理・整備はJRがおこなうことになっている。

幸田町にはJR駅が3駅あり、中でも幸田駅は駅舎も古びてはいるが、幸田町の玄関口である。季節にもよるがホームから東西を見ると、雑草の繁茂が見受けられることもある。
問 駅構内の環境整備の担当は、どこがおこなうのか。

環境経済部長 幸田駅西駐車場の管理は、産業振興課でおこなっている。来年度に駐輪場の屋根を張り替える予算を要求している。

問 農用地・森林の所有者の町内・町外の割合は、どのような割合か。
答 農地は、町内が2917人、町外が876人で、町外の割合は23%。森林は、町内が1977人、町外が1605人で、町外の割合は45%。

問 駅周辺の環境整備はどこがおこなうのか。
答 環境経済部長 幸田駅西駐車場の管理は、産業振興課でおこなっている。来年度に駐輪場の屋根を張り替える予算を要求している。

問 幸田駅構内の環境整備はどこか

答 JRがおこなう



丸山 千代子 議員

問 学習支援事業実施で貧困対策を

答 県の事業を注視し検討を重ねる



研究発表会の授業（中央小学校）

愛知県は今年度、県内の小中学生の家庭生活実態を把握するため、全体に占める生活困窮者の割合を示す「子どもの相対的貧困率」

を調べる。貧困対策と学習支援の実施を問う。
問 幸田町での調査はどうか。また、町独自の調査は。
答 健康福祉部長 12月7

日から20日までの間で調査する。町独自では実施していない。
問 生活困窮者自立支援法が施行されたが、活動状況は。
答 自立支援相談事業で相談の受け付け。生活支援事業では、生活の困りごとや不安の相談を受け付け、フードバンクの利用あつせんなどを実施している。
問 6人に1人が貧困といわれている。福祉と教育をつなぐスクールソーシャルワーカーの配置を。
答 学習支援を含め、制度の検討が必要と認識。
教育部長 どのように設置するかは検討課題。
問 貧困の世代間連鎖にストップかける学習支援事業の実施を。
答 健康福祉部長 県の事業を注視し検討を重ねていく。

問 いじめ防止対策を

答 校内対策会議や専門機関と連携

大津市のいじめ自殺を機に、「いじめ防止対策推進法」が施行されたが、原発避難いじめなど相次いでいる。2013年に「幸田町いじめ防止基本方針」が策定された。いじめ防止の具体的対策を問う。
問 町内のいじめ認知件数と実態調査は。
答 教育部長 平成27年度小学校10件、中学校13件、各学期にアンケートとその後個別面談を実施。

問 重大事態はあったか。現在まで報告はない。
問 いじめの定義で、どのようなことがいじめか具体的にしている。子どものサインを見逃してはならないが、対応は。
答 本人が苦痛と思う冷かし、からかい、悪口、仲間外れ、集団無視など、積極的にキヤッチしていく。
問 いじめの未然防止と早期解決を。
答 いじめを発見・通報を受けたら、校内の対策委員会や必要に応じて専門機関と連携をとっていく。
問 教員の資質向上を。
答 各種研修会を実施し、個人の技量向上に努めていく。

そのほかの質問項目

● 介護保険の充実をめざして



鈴木 重一 議員

問 ふるさと納税の町税への影響は

答 1億円以上の財源確保



町特産の筆柿加工品詰合せ（返礼品）

国の制度として平成20年にスタート。本町は平成28年5月2日より、1万円以上の寄附金に対して、町の独自性を出した返礼品をそろえた。

問 本年度の寄附件数、金額は。

答（総務部長）平成28年11月末現在で、4251件、2億8279万円となっている。

問 町税（住民税）への影響は。

答 他の自治体へ寄附され、減収となった町税は、

平成28年度分で1770万円。返礼品代など差引いても本年度は、1億円以上の財源が確保できる。

問 返礼品の事業者と品目の現状は。

答 9業者34品目でスタート。本町ゆかりのある企業および産品が中心。

問 事業者の販路拡大、産業活性化はできているのか。

答 平成28年11月末に坂崎の企業が加わり、さらに活性化することを期待。災害にあつた自治体に

代つて、手続きを協力する「代理受付」の考えは。大きな災害時に検討していきたい。

問 平成28年度から実施の企業版ふるさと納税の実績は。

答（企業立地監）本町では、寄附の打診はない。

問 健康増進のための施策は

答 運動習慣のある人の割合増やす

第6次総合計画の人口ビジョンは、平成37年までに4万2000人。現状と町民の健康増進の施策を問う。

問 若い人が多いまちなのか。平均年齢は。

答（企画部長）70歳以上より20歳以下の人口が多い。平均は42歳で、若い町と見受けられる。

問 65歳以上と15歳未満の割合。県の中では。

割合。県の中では。65歳以上は、20・5%で46位。15歳未満は、16・8%で2番目。

問 国の合計特殊出生率は1・46。本町は。

答 平成26年度の数値で1・77。県内6番目。

問 健康のまち宣言をして28年。健康増進のための施策は。

答（健康福祉部長）第2次健康こうた21計画を策定。運動習慣のある人の割合の目標を60%以上に増やす。健康遊具などの活用をすすめる。

問 公園などの背伸ばしベンチ、腹筋ベンチの健康遊具設置状況と、増やす計画は。

答（建設部長）都市公園の背伸ばしベンチは9基、腹筋ベンチは4基設置。今後、岩堀、六栗の区画整理公園に設置予定。

問 町内の文化財をウォーキングで巡るボランティアガイド団体の発足の考えは。

答（環境経済部長）今後、検討したい。

問 教育部長 歴史講座の受講者からの活躍を期待

今後、

今後、

今後、

鳥獣に負けない体制を早急に

先進地の情報や体制を研究する



足立 初雄 議員



イノシシに破られた無残なワイヤーメッシュ柵

鳥獣害対策の現状と今後を問う。

問 イノシシ捕獲の委託料と従事者の人数は。

答 [環境経済部長] 岡崎猟友会に年間40万円。4人。

問 40万円の委託料で十分との認識か。

答 十分とは思っていない。猟友会と話をしていく。

問 鳥獣害防止総合対策事業の金額と内容は。

答 平成28年度689万1000円、その内、国の交付金629万1000円。ワイヤーメッシュ柵の材料費など。

問 ワイヤーメッシュ柵の補完対策は。

答 平成29年度末に向け東側全体17kmを囲う予定。

問 捕獲組織の充実化の考えは。

答 狩猟免許の取得者増と全員の猟友会への入会。

問 地域住民による見回り隊組織化の支援は。

答 鳥獣パトロール隊など研究する。

問 行政として全庁的な組織の編成が必要では。

答 鳥獣害専門のグループ設置は難しい。

問 鳥獣に負けない体制を早急に構築する考えは。

答 先進地の情報や体制を研究する。

問

迅速に対応できる体制の構築を

答

情報をフル活用し対策に努める

通学時における安全対策の更なる改善点を探る。

問 不審者情報に対する行動は。

答 [総務部長] 地域安全ステーションによる強化。

問 [教育部長] 教育委員会から保護者に一斉メールの設置状況と、家主への研修は。

答 町内179件。対応マ

ニユアルを配付。

問 民家のない所の対策は。遠距離の児童は、えこたんバスを利用。

答 登下校時に見守りをする人の把握は。

問 各学校で23人から75人のボランティアが見守っている。

答 グリーンベルトの両側設置の方針は。

問 [建設部長] 基本的には片側設置。

答 警報発令前に帰宅させる指示、決定は。

問 [教育部長] 全児童を安全に保護者に引き渡す。中学生は、安全を確かめ集団下校。

答 町の気象観測データを活用し、迅速に対応できる体制の構築を。

問 [総務部長] 入手できる情報をフル活用し、災害対策に努める。



伊藤 宗次 議員

問 町教委の隠ペイ体質こそ改めよ

答 現状をみて検討したい



地域の先生に指導を受け凧作り（南部中学校）

問 就学援助制度は、国民の権利の認識は。

答（教育部長）憲法や教育基本法で、経済的理由によつて就学困難な児童生徒に学用品などの就学奨励で教育を受ける権利。小中学生の居る家庭は誰でも申請できる。

問 申請行為は拒むものではない。

答 町内保育園、幼稚園に

制度周知の文書配布依頼を。

答 就学児健診などで配布している。ホームページでも案内を徹底する。

問 入学準備金は2〜3月の早い時期に支給を。

答 平成29年度は早く出せる方法を取り組んでいる。

問 就学援助施行令から「民生委員の助言」項は削除されたが。

29年度予算編成方針は、財政厳しいを嘆き、財政調整基金取り崩して帳尻合せ。6月9日12月補正予算で基金取り崩さず、逆に6億円余積み増す。

問 財政規律投げ捨てても仕事せず

答 将来に向けて健全な財政運営

問 要綱に規定している。町教委の職務放棄し、申請者に民生委員の証明を取らせるのは人権侵害だ。事例は。

答 所得に関して1件。

問 ある団体のアンケート回答に2014年まで「ある」と回答し、2015年から「なし」。

答 市町村独自で認定基準を決めており、設問に対し回答した。意図的ではない。要綱は現状を見て検討したい。

問 厳しいを嘆いたは何なのか。

答（総務部長）前年度に16億円もの税収減があったため。

問 財政規律だ。健全財政を振り回しは、仕事らしき仕事せずだ。

答 プライマリーバランスを維持して、将来に向けて健全な財政運営をしていく。

問 3月議会で16億円借金はなんなのか。

答 税収減で財政調整基金が底をついてしまった。

問 借金で歳入膨らませ、収支で黒字だから黒字運営だとは。

答 前年度は特別の要件があった。後年度負担は少しでも軽くしていきたい。

問 財源ないなら、知恵を出せばいい。法人税超過課税の全国、県下状況。町実施でどれだけの増収見込みか。

答 全国1718団体で超過課税採用は997団体で58%。県下54団体中14団体で25・9%。

平成28年度当初予算へ1.5で約2億円の増収になる。